

『利用者さんの気持ちのくみとり方』まとめ

概 要

日 時：平成23年10月11日（火）午前10時30分～12時00分

場 所：森孝しぜんかん2階 会議室

参加者：17名

関係者：米沢・村松（森孝しぜんかん）横山（もりたかホーム）、小野（障害者地域生活支援センター）、杉江（東・守山障害者地域生活支援センター）、鈴木（社会福祉協議会）、谷畑（ファミリー24）、恩田（CHEER）、山田（ひかり介護） 敬称略

内 容：講義「利用者さんの気持ちのくみとり方」

講義では実際のニーズの把握について、実際のアセスメントを行う場面や環境について講師から投げかけがあった。また、「ニーズの主」というキーワードから、本当に本人の声をくみ取れているのか？御家族の声の色濃く反映されていないのか？ということの関係事業所のスタッフが見極める見立ての必要性について話が展開した。またグループ毎で、ある写真を元にどのような利用者さんの像が伺えるのかを考え、発表も行った。

グループワーク

1グループ4人～6人の構成。司会、記録係は関係者が担当。

自己紹介から始まり、講義の感想や自分のケースの紹介などを話し合った。

（参加者）

参加者8名の事業所別内訳は以下のとおり

事業所名	参加人数
ひかり介護	2名
あまこだ	1名
ファミリー24	2名
日本福祉大学中央福祉専門学校	1名
いちごハウス	1名
瑞穂区障害者地域生活支援センター	1名

（アンケート集計）

有効回答数 9件（※一部、関係者も含む）

① 今後、どのような内容の研修を受講したいと思いますか。（複数回答可）

身体 3 知的 5 精神 5 その他（老人介護）

- ・ アセスメント→個別支援計画→モニタリングの手法
- ・ 事例検討会
- ・ 身障・片麻痺の衣類の着脱

② 今回の研修での感想

- ・1枚の写真を見て、どのようにその人の像を想像するかという議題について自分の現状の見極め、今後の見立てが曖昧だということを感じた。また本人のニーズのくみとり方についてもしっかりしなければいけないと反省と共に勉強になりました。
- ・自分目線ではなく、色々な方の目線・考え方を聞かせてもらい、とても勉強になりました。
- ・今回の研修で利用者さんに対するニーズのことは色々勉強させてもらいました。ヘルパー同士の出会いの場作り色々な話しを聞いてもらいました。対人関係・障害の方の話が聞けたのは良かったと思います。
- ・事業所ごとの話、本人の迷い悩みを吐き出す場は大切だと思えた。またヘルパーさん同士の出会いの場は大切だと思いました。今回の講義で本人の思い、家族の思いを悩み考えることは大切だと学びました。
- ・ヘルパー・サ責等の立場により色々な意見が聴けたことは勉強になった。
- ・講義ではアセスメントの大切さを学びました。普段は限られた時間の中で仕事をすることでじっくりと相手のことを考えたり、アセスメントすることがあまり出来ないなので、もう一度じっくりと考えたいと思いました。
- ・アセスメントの基本的な姿勢を学ぶことが出来ました。聴き取って利用者さんのニーズを受け止めたあと、その実現が難しい場合の対応をどうすればいいのか？今後課題として考えさせられました。



講義



グループワーク (A)



グループワーク (B)



グループワーク (C)